

2023.04.30. 聖書預言・アップデート

預言のレーダー下

JD ファラグ牧師

アーメン、アーメン。一緒に祈りませんか？ 天のお父様、あなたがとても良いお方だと言うことは、十分ではないと感じます、主よ。あなたがどれだけ良い方であられるか、どれだけ素晴らしいか、本当に説明しようがありません。今朝、私たちは歌い、あなたに賛美を捧げたいです。あなたの御名を祝福します。あなたに捧げられるこの礼拝の時間を本当にありがとうございます。今朝のメッセージと共にいてくださいませんか？ この第一礼拝「聖書預言・アップデート」は、主よ、時に聞くのが辛い内容です。ですからどうか、私たちに語ってくださいませんか？ もう一度、感謝します。力強いイエスの御名によって祈ります。アーメン、アーメン。アーメン、アーメン。

おはようございます。ようこそ。来て下さり大変嬉しいです。どうぞ着席ください。オンラインで参加の方も歓迎します。見て下さり大変嬉しいです。始める前にさっとお伝えします。ここにいらっしゃる方、火曜日夜7時から、この礼拝堂で祈り会をします。ぜひ来てくださって、私たちと一緒に祈りましょう。スケジュールに入れておいてくださいね。日曜日の朝は、2つの礼拝があり、ご存知第一礼拝は「聖書預言・アップデート」毎週、長年してきています。第二礼拝は、聖書を節ごとに学ぶ「説教」、現在「第一ヨハネの手紙」です。御心なら、今日は「第一ヨハネの手紙1章」を学び終えます。本当に楽しみです。私たちの罪との闘いについて、大いに必要な良い知らせだからです。私を含め、すべての人が勇気づけられるような内容です。オンラインの方、それが、ハワイ時間11時15分からです。ユーチューブやフェイスブックでご覧の方はウェブサイト JDFarag.org へ直接行かれ、中断なし、検閲なしの今日の「聖書預言・アップデート」を丸ごと是非ご覧ください。それでは始めましょう。私は、「預言レーダー下にいる」というタイトルを選びました。その理由は、今の世の中は、あらゆるものが私たちに素早く飛んでくるといふ表現がぴったりだからです。「レーダー下」という慣用句には、何かが探知されず、監視している人たちの注意を引かないという意味があります。戦場では、これは危険で致命的で、そんなレーダー下を飛んで来る襲来戦機が、探知されず、攻撃する上で強力な欺瞞となりました。この戦術は、欺くことには有効だけでなく、同様の戦術が混乱と攪乱に効果的です。第二次世界大戦中の1942年2月、イギリス空軍が（興味深い）ゴモラ作戦を展開ドイツ・ハンブルクへの1週間の爆撃に、チャフと呼ぶものを投入しました。チャフはレーダー対策として有効でした。イギリス航空機が、アルミニウムの薄い紙片や金属化のガラス繊維の切れ端を雲状に放出しました。こうする事で、当時は3つの周波数帯しかなく、妨害電波影響を受けやすいドイツ軍のレーダー画面は、このクラスターで埋め尽くされ、大規模な混乱が生じ、もちろんその後の混乱も引き起こしました。それほどまでに、この戦術は効果的で、ドイツ軍のレーダー誘導式探照灯は、高射砲の射撃の狙いが定まらない通り役に立ちませんでした。私が何を言いたいか、もうお分かりだと思いますので、本題に入ります。まさにこんにち、起きてることだと同意しますか？ 私たちの霊的なレーダーに、何が探知されず、あるいは、攪乱、欺瞞、混乱で砲撃され、群がっているのでしょうか。先週、主との時間の中で、こんにちの霊的戦いの状況で、預言的に不気味なほど似ていることに驚かされました。その意味は、多くのことがあつという間に起こり、言わば、こっそりされているから、欺瞞、気の散らし、混乱は驚くほどです。

「しかし、神は。」しかし神は、私たちに見る目と聞く耳を与えておられます。私たちが聖書的霊的識別のレーダーを進んで活用するなら、欺かれることはないでしょう。砲撃されても注意散漫になりません。

これだけ大量に、しかも高速で飛んできて、気づかないわけがありません。「第二列王記 6 章」に、このことを語っている非常に興味深い記述があります。何が起きているのか、裏話をします。本当に魅力的です。イスラエルと戦争状態にあったシリアの王は、イスラエルへのステルス攻撃を計画していました。でも、ひとつ問題がありました。問題は、彼の計画がなぜかエリシャの霊的レーダーに映り込んでいることでした。それでエリシャはイスラエルの王に注意を促していました。それを知ったシリアの王は大いに悩み、こう考え緊急会議を招集します。

「我々の中にスパイがいる。でないと、イスラエルの王が、我々が何をしようとしているのか、する前にわかるわけがない。間違いなく、裏切り者や二重スパイ、スパイがいるはずだ。緊急会議をするぞ。」この会談で、しもべたちはシリアの王を説得しました。

「申し訳ありませんが、ここにスパイはいません。ここで起きているのは、イスラエルには預言者がいます。その名はエリシャ。彼はイスラエルの王に、“あなたが寝室で話す言葉そのもの”を伝えます。」(12 節参照)

「なぜ彼にわかるのか？」お～神がエリシャに知らせておられるからです。ええ、想像通り、シリアの王は激怒し、夜の内にレーダー下に軍を潜り込ませ、街を取り囲みます。(14 節参照) 彼の計画は、気づかれないように預言者エリシャを殺すことで、今からその箇所を取り上げます。「第二列王記 6 章 14 節から 23 節まで」です。

—II 列王記 6:14—

そこで、(シリアの) 王は馬と戦車と大軍をそこに送った。彼らは夜のうちに来て、その町を包囲した。

—II 列王記 6:15—

神の人(エリシャ)の召使いが、朝早く起きて外に出ると、なんと、馬と戦車の軍隊がその町を包囲していた。若者がエリシャに、「ああ、ご主人様。どうしたらよいのでしょうか」と言った。

—II 列王記 6:16—

すると彼(エリシャ)は、「恐れるな。私たちとともにいる者は、彼らとともにいる者よりも多いのだから」と言った。

ここでちょっと止めます。よければちょっとお付き合いください。もし私がエリシャの召使いで、自分が見ている、この巨大なシリアの大軍が、私たちを殺すために向かってくるのをエリシャに見せて、伝えた後、エリシャからこう言われたら、エリシャは、言います。

「おののくな。恐れるな。私たちと共にいる方は、彼らと共にいる者たちより多いのだ。」私はその召使いを想像します。私だったらきっこうなります。私はそれを見ながら言います。「どこがですか？あなたは、同じものを見てますか？ エリシャ、私が見ているのはあれですよ。」「ああ、君が見ているものは分かっている。どうやら君には、見えていないようだね。」そして、17 節、

—II 列王記 6:17—

そして、エリシャは祈って主に願った。「どうか、彼の目を開いて、見えるようにしてください。」主がその若者の目を開かれたので、彼が見ると、なんと、火の馬と戦車がエリシャを取り巻いて山に満ちていた。

炎の戦車ですよ。エリヤがそこにいます。エリヤは火が好きでしたから。思い込みかもしれませんが、エリヤは放火魔だったと思うのですもん。火の馬が山に満ちていた。シリア軍が向かってきて、エリシャは召使いの目が開くよう祈り、主が彼の目を開かれました。彼に見えるのは、(シリア軍は) 小さな小さ

な可愛らしい軍で、こちらには天の軍勢が、火の馬と戦車が、山に満ちている。

想像して下さい。自分自身をそこにおくと、自分自身をそこにおいて、その召使いを見ると、彼が考えている事が分かります。「ほ〜〜！！」です。彼は地元の召使いだから。彼は自分自身に言います。「神のものだ！！」それがポイントです。お〜、神様、あなたが私たちのために備えておられるものを見るため、霊的な目で霊の領域を見られるようにしてくださって、ありがとうございます。シリア軍が彼のもとに下りてきたとき、18節、

一II 列王記 6：18-

アラム人がエリシャに向かって下って来たとき、彼は主に祈って言った。「どうか、この民を打って目をくらませてください。」...

わお！ では、これを整理してみます。エリシャは、召使いの目が開かれるよう祈り、それから、シリア軍の目を閉じ、盲目になるように祈ります。それに対して、主は何をされるのでしょうか。

...そこで主はエリシャのことばのとおり、彼らを打って目をくらまされた。

祈りは強力です。敵のことを考えたりしないでください。では、19節、

一II 列王記 6：19-

エリシャは彼らに言った。「こちらの道でもない。あちらの町でもない。私について来なさい。あなたがたの捜している人のところへ連れて行ってあげよう。」...

それは私（エリシャ）だけけれど、あなたがたは盲目だから見えない。彼らは、エリシャを追っていましたから。彼を殺すために契約を結んでいます。正にエリシャを殺そうと送られた者たちが、目が見えなく、盲目にされ、エリシャ自身が彼らに言います。「さあ、私がエリシャのところへ連れて行ってあげよう。」私はあなたがたの目の前にいるけど、「私がそこへ連れて行ってあげよう。」

...こうして、彼らをサマリアへ連れて行った。

一II 列王記 6：20-

彼らがサマリアに着くと、エリシャは言った。「主よ、この者たちの目を開いて、見えるようにしてください。」主が彼らの目を開き、彼らが見ると、なんと、自分たちはサマリアの真ん中に来ていた。

一II 列王記 6：21-

イスラエルの王は彼らを見て、エリシャに言った。「私が打ち殺しましょうか。私が打ち殺しましょうか。わが父よ。」

そう、改めて、私だったらそうしたでしょう。私だったら、エリシャにこう言ったでしょう。「敵をこちらの手に渡してくれて感謝します。あなたの許可を得て、彼らを殺したいと思います。」

私なら完全にそうしたでしょう。皆さんもでしょうから、ご自分を良いように取らないでください。しかし、22節、

一II 列王記 6：22-

エリシャは言った。「打ち殺してはなりません。あなたは、捕虜にした者を自分の剣と弓で打ち殺しますか。彼らにパンと水を与え、食べたり飲んだりさせて、彼らの主君のもとに行かせなさい。」

一II 列王記 6：23-

そこで、王は彼らのために盛大なもてなしをして、彼らが食べたり飲んだりした後、彼らを帰した。それ以来、アラムの略奪隊は二度とイスラエルの地に侵入しなかった。

わお、わお、わお。皆さん、この箇所何か分りましたか？ シリア軍は敵ではありません。敵が敵

です。私たちの格闘は、血肉の人間ではなく、暗闇の支配や権力です。(エペソ 6:12 参照)

私たちは霊的戦いにいます。これは霊的戦いです。パウロがコリント人書に書いているように、私たちに与えられている武器は肉体的な武器ではありません。私たちに与えられた武器は、この霊的な戦いに挑むための霊的武具です。で、彼はどうするのか？ここに贖いがあります。ここに恵みがあります。ここに救いもあります。彼らの命は、救われたのです。イスラエルの王、あなたの牧師など、あなたが殺したい人から。エリシャは彼らを救い、彼らの命を救いました。重要な学びがあります。見逃したくありませんが、前に進まなければなりません。でも、私がこう言う時どうか聞いて下さい。悲しい事に、私たちは、彼らが敵であるという嘘を信じます。彼らは敵ではありません。彼らは、_____ 皆さん空欄を埋めることができます。彼らはチャンスです。彼らは宣教対象です。私は先週、これを考えていました。聖霊が思い出させて下さったので、皆さんと分かち合いたいと思います。主から私への個人的なとても興味深い御言葉です。皆さんに分かち合いたいと思います。それを質問で組み立てたいと思います。

なぜ、教会は人々に伝道しないのか？

答えは、なぜなら教会は、人々を悪魔化するのに忙しすぎるからです。

もしあなたが悪魔化しているなら、あなたは間違いなく伝道していません。これが正に、ここで見ている事だと思います。敵は、霊的領域の敵です。神が、イエス・キリストの救いに導くため、このような時に、その人をあなたの道に置かれたのではないと、どうしてわかりますか？もし、あなたがしないのであれば、モルデカイがエステルに言ったように、救いは、別のところから来るでしょう。

(エステル 4:14 参照)

他の人を探します。あなたは既に台無しにしたから。あなたは既に、SNS で相手のページに非難するような投稿をしているから。じゃあ、神は他の誰かを見つけられます。あなたがその器じゃないからあなたは器じゃない。あなたが敵として悪魔化した相手に、どうやって伝道するつもりですか？

ですから神は、御目をもって全地を隅々までご覧になり、他の人を見つけられます。(II 歴代誌 16:9 参照)

話を逸らせたいのではありませんけど、これは、今日ここにいる誰か、あるいはオンラインで見ている人かもしれません。最後まで聞いて下さい。主は、あなたの道に誰かをもたらしことを望んでおられるかもしれません。主はその御目をもって全地を隅々まで見渡し、その心をご自分と全く一つになっている人々に御力を現してくださり、見渡し、見つけた人を用いられます。主はその人を見つけられると、ほ～誰かをその人の道へもたらされます。主は彼らが、良い執事になることをご存知だからです。主は初めから終わりをご存知です。

「彼は、示す機会を大事にする良き執事である。」何の機会？ 機会は、彼らにイエスを共有すること。彼らはイエスを必要としているからです。ヨナにならないうちにしましょう。どういう意味？ ニネベの人たち/こんにちの悪魔のネズミ。やりすぎたかな？皆さんの反応を見て、そう思ったのでしょうか。

いや、ヨナは彼らを憎んでいました。ニネベの人たちを憎んでいました。神は、ニネベの人たちを愛しておられました。ヨナは神に、彼らを殺してほしかった。神は、彼らを救いたかった。で、ヨナが行かされて、彼は福音さえ伝えません。良い知らせはありません。

「神がお前たちを焼き滅ぼされる。待ちきれないね。ポップコーンを持って最前列で見てやる。待ちきれないね。40日以内だ。(ヨナ 3:4 参照) 早く来ないかなあ。神がお前たちを焼き殺される。」

で、ニネベの人たちの反応は？ 彼らは悔い改めました。ヨナはどうするのか？ ヨナは、神に腹を立てま

す。「あなたは彼らを救われるのですか？」そうです。イスラエルの王は、シリア軍に対し、「食事を与えるのですか？」そうです。彼らは敵ではありません。彼らはチャンス/機会です。

いいでしょう。既に進行中の「聖書預言・アップデート」に戻ります。なぜこのように始めたかという、私自身も含めて、私たち全員が、神がエリシャと、続いてエリシャの召使いに与えられたもの、祈りに、自由にアクセスすることができるからです。祈りは、目的達成手段で道です。私たちは、再度、私自身も含めて、このような聖句をこういう旗印で、自分たちの権利を奪ってしまうと、大きな間違いを犯すと思います。「もちろんあれはエリシャで、私はエリシャじゃないから。」あなたはエリシャじゃないかもしれませんがこれは、昨日も今日も永遠に変わらない神、エリシャの神です。私たちがそうやって、自分自身を切り離すと、霊的な盲目さと識別力の欠如という縄で、私たちは、多くの強大な奇跡という神の御手を縛ります。真理は、エリシャのように昨日も今日も永遠に変わらない神が、エリシャ与えたのと同じ霊的レーダーを、私たちにも与えてくださっています。言い換えれば、当時、エリシャがアクセスし活用したものは、こんにち、私たちがアクセスし活用できます。私たちは、超自然の領域に対する霊的な識別力と洞察力を持てます。願わくは、私たちが盲目になるのではなく、エリシャのように、霊的戦いが見えるよう、霊的な目を開いて下さるよう祈りますように。皆さん気づきましたか？ エリシャが、目を開いてください、見えなくして下さいと祈るたび、彼らは盲目になるか、盲目にならず見えるようになりました。ポイントは何か？ 私のポイントは、私たちは主に祈る必要があるのです。

「主よ、私に霊的に見える目を与えてください。超自然的な見識と視点のレンズを通して私がこれを見えるようにしてください。そうすれば、私は天の軍勢、軍隊、火の戦車などが見えます。」

ちなみに私はそれが2、3欲しいなと思っています。もし私たち全員が、神がなさり、神が私たちのためにしておられることを見ることができれば、もし神が私たちのためにおられるなら、間違いなくそうですが、何も誰も私たちに敵対することはできません。(ローマ 8:31 参照)

お～繰り返しますが、願わくは、私たちが敵を見るとき、軍隊と脅威と恐怖が襲ってくる時、神が見えるようにして下さいますように。「いやいやいや、可愛らしいですね。もしあなたが、私が見ているものを見ることができたら。」

霊的な領域で、私を担当している御使いたち、主の御目は、いつも私に向いておられ、主の御手は、いつも私のために、私を守ってくださっています。では、よろしければ、まずはこの霊的レーダーを預言的に活性化させたいと思います。それから次に、個人的に必要な適応をしたいと思います。その為、先に進むので、フェイスブックとユーチューブでのライブ配信を、ここで終了します。まだの方は、ウェブサイトへ直接どうぞ。

一本編一

以下は、すべての欺瞞、滅び、混乱で、探知されず、あるいは砲撃され、群がる預言的意義の霊的攻撃の一部です。改めて、これが私の目的言わば目標です。私の祈りは、私も含めて私たちみんなが、これらを私たちの霊的なレーダーで捉えるようになることです。そうすることが最重要で、そうすることが、私たちが生きている時の遅さという深刻さに目を向けることに繋がるからです。まずは、エルサレム・ポスト紙の先週24日(月)のこの報道からです。

「3D プリンターマイクロニードルパッチは、多くの人にワクチンを届けることに貢献。」

初っ端から色々な問題があります。これでもかというほどで、私はこういう単語を使いこう説明します。

今から見ていくように、私が考える事は理解しやすい理由だと思います。プロパガンダという単語を使います。なぜ、この単語を強調するのか。なぜなら、悲しいかな、プロパガンダのような単語を使うと、よく使いますが、先週か先々週だったか、ロシア・ウクライナ戦争の文脈で使いました。全てがプロパガンダです。実は.....正直なところ、このプロパガンダという単語の本当の意味に対する集団的な素朴さに、ちょっと唖然としました。公平に見て他にも告白せねばならないことがあります。これは、大切な友人で兄弟から知らされました。私は先週、「難問」という単語を間違えて使いました。神は赦しの神です。ですから皆さんも私を許してください。難問/conundrum という単語を con-dun-drum/コンダンダムと強調して発音したのです。ー(笑)ー

それは実は単語にはありません。その単語の意味は知っていました。どう発音していいかわからなかったのです。胸のつかえを吐き出しました。どうか分かってくださいね。それをもち出す理由は、、木曜日に話しましたが、別の単語があるのです。この単語の意味を全く理解していないので、語彙の中には入れません。「忌み嫌う/abomination」という単語。木曜日の夜に学んだエゼキエル書の2つの章に、それが何度も盛り込まれていました。その単語の本当の意味は何か？ 御言葉を正しく分け、聖典を調べる必要があると思います。そうすれば、先週のあなたの牧師が、conundrum/難問のような単語を使って、私のように台無しにして恥をかくことはありません。しかし、私たちはこういう単語の本当の意味を理解する必要があります。このプロパガンダという単語について、少し時間をとってお話したいと思います。意味しないことを説明することで、意味することを理解するのに役立つのかもしれませんが。プロパガンダとは、報道された情報が真実でないことや、実際に起こっていないことを意味するものではありません。それはプロパガンダの意味とは違います。むしろプロパガンダとは、報道された情報が、偏見を生み、意見に影響を与え、ひいては、行動をプログラム化する目的で、意図的に惑わすことを意味します。ですから、これが起こっています。プロパガンダという単語は、この策略とキャンペーンのため、ねじ曲げ、回転させ、仕立て上げられています。成功を取めたプロパガンダキャンペーンは、特定の政治的視点や意見を促進し、宣伝するものです。プロパガンダの成功は、激しい操作が前提で強力な欺瞞をもたらします。このエルサレム・ポスト紙の見出しは、そのプロパガンダの典型的事例です。最後まで聞いて下さるなら、その理由を説明します。そのプロパガンダの見出しはこうです。

ー引用ー

「3D プリントのマイクロニードルパッチは、大衆にワクチンを届けるのに貢献。」

これはプロパガンダです。この見出しだけで人を惑わします。操作しています。当該ワクチンが、大衆に行き渡る必要あるという前提のもと、惑わしています。待って。それはプロパガンダです。その理由は、前述のウイルスが致命的で、前述のワクチンが安全で効果的なら、大衆に届ける必要ないのでは？ 大衆が受ける事はないのでは？ それがプロパガンダです。そう、判断を誤らせ、惑わしています。というのも「大衆が騒ぎ、列に並び、私のワクチンはどこ？と叫んでいる」という前提で、陰湿に組み込まれています。実際は逆になっています。人々はちゃんと叫んでいます。ワクチンのためじゃないですよ。人々は、ワクチンを打たなくていいと叫んでいます。なぜそんな目で、私を見るのです？ エレミヤやエゼキエルのような気分になります。「彼らの顔を恐れてはならない。」もう皆さんの顔を見ないようにして、自分のメモを見ておきます。ー(笑)ー だって皆さんが私を見る目は、「何だって?!」だから。OK。構いません。慣れてます。そのプロパガンダの点と点が繋がりましたか？ そう願います。なぜならこれは、レーダー下、あるいは言わば皮膚の下で行われることに関連するもう一つの欺瞞と錯乱を露呈します。この

2、3年の間、私たちは、私たちの聖書の「レーダー」で、これがどのように獣の印の刻印になるか見てきました。ダジャレです。エルサレム・ポスト紙のこの一文を聞いてください。

ー引用ー

「3Dプリンターで、ワクチンを含有した数百本の（キーワード→）マイクロニードル付（覚えておいてください）パッチを作製。それぞれのパッチは、皮膚に貼り付け皮膚の中に入り込み、従来の注射を必要とせずにワクチンを浸透させられる。」

OK。数々のアップデートで詳しく取り上げてきたため、簡単な概要だけお伝えします。具体的に、これがもうまもなく、黙示録13章の7年間の患難時代、獣が力を得たとき、なぜ、どのように「しるし」になるのか。黙示録13章16節から18節、その刻印がないと誰も買ったり売ったりできない話だと、皆さんが理解しているということで話を進めます。他の2つ、黙示録18章23節と19章21節に注目していただきたいと思います。18章23節から始めます。これはバビロンに対する裁きです。

ー黙示録 18:23ー

ともしびの光も、おまえのうちで、もはや決して輝くことはない。花婿と花嫁の声も、おまえのうちで、もはや決して聞かれることはない。というのは、おまえの商人たちが地上で権力を握り、おまえの「魔術/sorcery」によって「すべての国々の民」が惑わされ、

ー黙示録 9:21ー

また彼らは、自分たちが行っている殺人、「魔術/sorcery」、淫らな行いや盗みを悔い改めなかった。

さて、なぜ今日もこの話を持ち出すのか？理由は、この3Dプリント技術は、「刻印」をより明確に、より近くに焦点を当てます。すなわち、黙示録13章16節～18節の「刻印/mark」と、そして黙示録9章21節と18章23節の「魔術/sorcery」の意味の具体性にです。まず、「刻印/mark」から始めましょう。新約聖書原語のギリシャ語でこの単語「刻印/mark」は、『カラグマ』。単語の語源は、『カラックス/charax』で、印、入れ墨/タトゥー、杭/パリセードの意味があります。画面は、鋭いマイクロニードルの先端で、古代の宮殿攻防戦がどのようなものだったかを示す写真です。画面は、先週月曜日に掲載の記事のスクリーンショット2枚のうちの1枚で、このマイクロニードル/パリセードの3Dプリントを示しています。2枚目の写真は、この3Dプリンターで作製のマイクロニードルのパリセードは、インクが注入されることに留意ください。

引用：これは、入れ墨/タトゥーのようにインクを注入する

引用：パッチのように小さく、額や手に貼る事が可能。

これはジョージア工科大学のユーチューブ動画の拡大画像で、5年前、実際2018年のものです。バンドエイドのような大きさのパッチに、マイクロニードルのギザギザが入ったパリセードが分かります。拡大画像を見て下さい。3Dでこれを印刷できるのです。画面は、同じ動画から、女性が手にパッチを貼っている場面です。何が興味深いかというと、この技術は、もう何年も前からある事。今や、この3Dを実際に印刷できるほど進歩しています。3Dプリントができるのはそれだけではありません。それに詳しい方、この3D技術とは、まさに気の遠くなるような技術で、サタン自身から生じたと確信します。AI（人工知能）は、人工知能ではなく、悪魔の知能です。ルシファー/サタンは、非常に知性があり、彼はその知能を、人間に魂と引き換えにダウンロードしました。エデンの園であった同じ嘘です。

「この木から食べれば、あなたの目は開かれ、神のように永遠に生きる。」（創世記 3:5 参照）

これらの人々は、イエス・キリストから離れても、永遠の命を得られると信じ、欺かれています。それが

トランスヒューマニズムが生じた所です。今からお話しします。彼らは実際に、これをすれば永遠に生きられると信じています。

「あなたがたは決して死にません。」(創世記 3:4) 蛇がエバに言った通りです。

では、しるし、刻印/タトゥー、パリセイドに、「魔術/sorcery」という単語を追加下さい。これが必要なところで、言い方はマズいですが、「ゾットする」という単語の使い方だと思います。

「魔術/sorcery」は、ギリシャ語で「ファルマキア」で、英語の薬剤や製薬の語源です。

これについてずっと話してきたのは分かっています。ご辛抱ください。魔法の薬、儀式的魔術や悪魔的魔術で使われる毒の注射の概念があり、多くは蛇の牙のような杭/パリセードが使われます。それが、こうした魔術の儀式で行われます。中が空洞の蛇の牙を使うのですよ。蛇が噛むと毒蛇の毒がその杭/パリセード、(中が空洞の) 牙から入ってきます。このしるし/mark は、鋭い蛇の牙のようなマイクロニードルで入れ墨のようなパッチになり、手や額に刻印して毒を送り込みます。今の注射がすでに獣のしるし/刻印なのか? という質問に対して、さっと再度、言っておきますまだです。まだあり得ません。

携挙がまだ起こっていないからです。7年間の患難時代が、まだ始まっていないからです。

また、まだ反キリストが出現していないからです。

そしてもうひとつ追加しますと、獣はまだ力を得ていません。その全ては、7年間の患難時代に登場します。因みに補足します。本当に苦労され、義務化を承諾し、接種せねばならなかった、憮然として恐ろしくなっている人にきつと言う必要があるのは、聞いて下さい。あなたが神の御霊で生まれ変わっているなら、生まれ変わっていないになり得ません。あなたが救われているなら、救われていないになり得ません。ですから、神があなたに持っておられる愛からあなたを引き離すため、できる事は何もありません。

(ローマ 8:39 参照)

敵に、それをさせないでください。あなたが接種されたなら、、、因みに、これも言っておかないといけな

いかもしれません。今日は、いろいろなことを吐き出さなければならぬようです。
「JD 牧師が注射を打つらしい。」と仰る人がいると聞いて、啞然とします。どうか笑ってください。無茶な話ですよ。ばかばかしいです。記録の為ははっきりしておきます。接種していません。決して、決して、決して接種しません。いいですか? それからもうひとつ。私は検査もしたことがありません。

「牧師さん、するべきですよ。私は15万回検査を受けました。」構いません。私は彼らに、鼻から私の脳に何かを入れるなんて、絶対に許しません。私は検査したことはありません。そのポイントは、私は体調不良になったことがないんです。いえ、間違っ

て聞こえましたね。言い直しますね。稲妻が落ちてきて私を襲う前に、神の恵みによって、神の恵みと慈悲によって、私はこれを受けたことがありません。体調を崩したことがないのです。もし、体調を崩すべき人がいるなら、喘息持ちの私のような人になるはずですよ。私はこれを受けたことがありません。体調を崩したことがありません。すべてのご栄光を神に捧げます。でも私は、彼らが私の体に何かを入れることを許したことはありません。私は彼らを信じません。彼らを信じません。OK。それが私の胸の内です。私たち、もう大丈夫ですよ。進行中の「聖書預言・アップデート」に戻ります。以下が、この話に入りたかった理由です。これらの開発をしなければならない事。一緒によく考えてほしいのです。最後の幕が引かれる前に、サタンが舞台を用意するので、彼らはレーダーの下にいなければなりません。私たちが患難時代前に携挙されるまでは、反キリストが姿を現し、患難時代の始まりに至ることはあり得ないからです。私たちはこれを知っています。理由は、神の御言葉の故に、です。「第二テサロニケ 2 章」は、これを時系列で記述し、解釈学に「ダニエル書 9 章 27 節」と

合致します。解釈学という言葉は、私を実際よりも知的に見せてくれます。聖書が聖書を解釈するという意味です。実は「第二テサロニケ 2 章」と「ダニエル書 9 章 27 節」の預言は、イスラエルの中心性が語られており、それがレーダー範囲です。説明します。

7 年間の患難時代に関する聖書預言は、イスラエルが中心で、イスラエルについてで、イスラエルで起こり、イスラエルのためです。私たちが目にしていることのほとんどが、イスラエルが主導しているという意味で、イスラエルから発信されていることには驚くべきではないでしょう。

「イスラエルがトランスヒューマニズムへの道を先導」と題したこの動画に入ります。

19 日(水)に投稿されました。その中で、エルサレムのイラナ・レイチェル・ダニエルが報道しています。このように、徹底したしっかりとした文書です。彼女は、イスラエルという国がどのように続いていくかその解説を紹介しています。

引用：パイロットプロジェクト国として利用されるため以下は、その動画の文書版からの抜粋です。

ー引用ー

「イスラエルに帰国して、私は、私たちが直面している危険の新たな厳然たる姿に遭遇しました。この国が、世界の暗黒の変化のパイロットプロジェクト国家として利用され続けていることに、私たちはますます懸念を抱いています。これらの脅威は、いくつかの側面から分かり、ファイザーの場合と同様、まずイスラエルの人々にもたらされ、後にあなた方に向けられます。それは、WHO/世界保健機構が推進の医療デジタル化と遺伝子データベース収集です。(引用継続) ジョーダン・ピーターソンとのインタビューでベンヤミン・ネタニヤフ首相の発言に、多くの人が衝撃を受けました。...

ちなみに、この件に関しては、以前のアップデートで取り上げました。彼らは修正し、私は見つけました。それをアップデートで共有しました。息を呑みます。ダジャレじゃありませんよ。

...このネタニヤフ首相は、ジョーダン・ピーターソンでのインタビューで、臆面もなく、最も高額報酬の業界に売却する国立遺伝子データベースの計画を発表しています。2016 年、保健省は「ヘルスケア・イスラエル」を立ち上げ、デジタルヘルス技術や専門知識を巡り、世界中の政府と連携するため作られたとされる医薬部外品専門部署を設立。」

このスクリーンショットを指摘しないと大失態だと思うのは、スタッフ、画面を戻してください。実は私は、このイスラエルの元国連大使、ロン・プロッサー氏を知っています。一番右の人です。私は.....実は彼のことをよく知っているんです。数年は話していませんけど、これは多分私が、繰り返し言いたかったのかもしれない。この人は私が何年も祈ってきた、イエスを必要としている人です。彼はとても知的な人です。でも、イエスが必要です。彼はこの件の一部ですけど、敵ではありません。たまたま知り合いになったんです。実は友人です。また実は、彼はチャンスです。もし、主があなたの心にロン・プロッサー大使を置かれたら、彼のために祈ってください。

ー引用継続ー

「そのひとつが、2018 年中国との、緊急時の備えと 3 年先（興味深い）を見据え、デジタルヘルスの領域のデジタルヘルス協定。また、2018 年、(皆さん 2018 年ですよ。よく考えて下さい。) イスラエル政府は、国家の成長エンジンとしてデジタルヘルスの国家計画を作りました。国家に発展と産業をもたらすという名目で（レーダー下）で、約 10 億シェケル（370 億円）のプロジェクトを受注。これにより、”デジタルヘルス技術”（2020 年以前のデジタルヘルス技術）と膨大な遺伝子データベースを全面的に開発するための下地が作られたのです。誰が、BB：ベンヤミン・ネタニヤフよりうまく表現できるでしょう。」

ネタニヤフの発言の重要部分を聞いてください。

ー引用ー

「私たちは、明日の産業を発展させる。事実上、これらはこんにちの産業だ。それらは「非常に大きなデータベース」「人工知能」そして「連携性」という3つの組み合わせに基づく。新製品の大幅な増加が期待できる。新製品はどのようなものか？ イスラエルには、ほぼ全人口を包含する巨大なデータベースがある。これは、過去___年間の、私たちほぼ全員の健康記録を集中的にデータバンク化したものだ。（言いますよ）過去20年間の。」

2003年から20年間。2003年です。OK。息を整えます。主よ、血圧をすぐに下げてください。大仰天、信じられません。人々が気づかない内に、これが何十年、何十年も水面下/レーダー下で進んでいたからです。100年近く、いや、それ以上かもしれません。OK。私の胸の内を吐き出す、最後になりますように。イラナは続けてこう言います。

「私たちの超野心的な首相は、この土地の人々と資源を、世界的ゲームの駒として使い続けています。私たちの医療データの取引と収益化は、かつて神聖であったプライバシーが、今では冒瀆されています。私たちが言うまでも無く、盗まれて売られているのです。繰り返しますが、2018年、この人たちにとって忙しい一年でした。イスラエルは、10万人の遺伝子配列を集めることから始め、デジタルヘルスへの取り組みを装備し、今日の遺伝子・臨床医学データベース基盤構築を行いました。ここからが核心です。イスラエルのバイオコンバージェンス/生体融合プログラム、ひと言で言えば、トランスヒューマニズムの未来の基本要が構築されている所です。（引用継続します）彼らはイスラエルを世界のバイオコンバージェンス先進国へと変貌させています。バイオコンバージェンスとは、要するに技術（Engineering）と生物（Biology）の融合（人間と機械の融合）です。興味深いことに、2020年に勢いをつけました。」

再度、引用ではありませんが、これを挿入させてください。私がこれを言うのに、飽き飽きしないでほしいのですが、この3年間は、より良い言い方がないので、言い方はマズいですが、こんにち彼らが実行するのを目にしているその事のために造られました。

言い換えれば、いわゆるワクチンは、コロナのために造られたのではなく、コロナが、いわゆるワクチンのために造られました。

それを利用して、レーダー下でしているのは、「トランスヒューマニズム」「バイオコンバージェンス/生体融合」それが全てです。引用を続けます。

ー引用ー

「図解してみましょう：バイオセンサーがあなたの体に埋め込まれます。...ふむ。。。正に、今読んで参照したヨハネの黙示録13章だと思います。ふむ。。。...バイオセンサーを体内に埋め込み、臓器を常時監視します。そして、すでに実用化されている薬剤送達技術：ゴースト・スマート・ナノ・ロボットが、選んだ臓器内に幹細胞を直接運び入れます。”3D”生体プリント組織は、ナノロボットで新しい臓器を作り、それを組織に移植することで、いわゆる強化された特性を持つ臓器を造れるのです。実際に、生体材料と電子部品で作られた”サイボーグ組織”と呼ばれ、体の組織と一体化することになります。」

このスクリーンショットへのリンクがあります。全部リンクを貼っておきます。この技術の進歩を追ってみると、正に驚愕します。

「そして、急速なパルス状光チップ技術を使い脳の特定の神経細胞を活性化する目的の、オプトジェネティクスと呼ぶものが造られます。これにより、例えばプラスチックチップのように、特定の臓器機能を

持つヒトの組織を体外で増殖させることができます。(なんて気持ち悪いんでしょう)これが合成生物学で、DNAの塩基配列を決定し新しい遺伝子を作り、書き込むのです。コロナ危機は、この mRNA 技術への大きなおとり/餌で、全世界の”デジタル化”の始まりに過ぎなかったのです。デジタル取引に限った話ではありません。あなたの身体デジタル化です。彼らは、私たちの大多数にこのことを知られないようにしてきました。(レーダー下)それが、CBDC/中央銀行デジタル通貨でのねぐらになっています。」

(引用終了)

CBDC/中央銀行デジタル通貨の話は、ずっとしてきましたね。CBDCは、中央銀行デジタル通貨の頭文字で、このバイオ・デジタル「サイボーグ」の技術下に到来します。水面下/レーダー下で。CBDCの、最近の電子通貨ベース、"ユニコイン"に関する報道やプレスリリースを見れば一目瞭然です。時間の都合上、さっと、この3つの報道を紹介します。いずれも、まもなく訪れる「獣の刻印」を指し示します。この最初のは、バイナンス*の報道です。*世界最大の暗号通貨取引所です。21日(金)の報道の見出し：『DCMA、暗号ベースのCBDC「Unicooin」を発表。』

ー引用ー

「デジタル通貨金融庁(DCMA)は、ユニコインと呼ぶ共通通貨単位(UMU)の運用を開始すると発表。ユニコインは、デジタル通貨ルールを介し越境決済促進の国際的中央銀行デジタル通貨(CBDC)である。」

興味深い単語:ルール 彼らが支配するのです。あなたは、ルールに乗っていないと口座停止になります。2つ目の報道は、Banking Exchange社からです。リンクに注意する必要があります。今朝早く、知ったのですが、はやくも、この記事は削除されました。考えて、、、祈りました。

「主よ、このリンク、入れないべきですか?」基本的こう感じました。「いいえ。彼らが削除したことは、あなたが引用すべき正に理由です。彼らが削除するというのは、何を意味しますか?」

これを聞いて下さい。先週24日(月)の報道です。見出し:暗号取引所「国際CBDC」としてコインを発表。これは、あの大手暗号取引所の破綻と完全に仕込まれています。つまり、デジタル通貨に関して震撼させた、地球を揺るがすような出来事でした。なので、その答えになるようなものなのです。内容は、

ー引用ー

「ワシントンDCに拠点を置く企業が、商品先物取引委員会統括の新しいデジタル通貨を発表。デジタル通貨金融当局(DCMA)(誰も聞いたことがありません)が月初に発表した”ユニコイン(Unicooin)”を支える国際中央銀行デジタル通貨」は(皆さんこの言葉を留意ください)国境を越えた決済を瞬時に行える。」訳すと、あなたに付随するのではなく、あなたの体内に入る。カイルアタウンのある場所での体験を共有しましたが、私は支払いに、時代遅れのクレジットカードと呼ぶものを使いました。現金を使いたかったのですが、多くの方がもう現金を受け入れないです。皆さんが、そのことに気づいているかどうかわかりませんが、そこがポイントなんです。それで私はカードを取り出してお金を払うと、すぐ後ろの人がレジに並んでいて、あまり品数、すぐに携帯電話を差し出しました。お~彼の携帯をスキャンしました。私は、「ほ~下がれサタン!!!」■▽○X□▲●Xそれをしないで!!! だって、もうすぐ携帯電話は必要なくなって、もうまもなく、手のひらを置くだけ。彼らはすでにそれがありません。手のひらスキャン、顔のスキャン、顔認識、そしてあなたに埋め込まれているものを読み取る。あなたのために特別に3Dプリント。額をスキャンで決済完了。

「お~待って下さい。あなたの口座は停止されています。信用不足です。あなたの点数を引き落したら、

あなたの口座にはこの取引を完了するための十分な信用がないようです。」御機嫌よう。それが CBDC です。この言葉を聞いてください。"即時に"それがバイオ（生体）デジタルです。

この最後の3つ目は、昨年9月のもので、「米国中央銀行のデジタル通貨の技術的可能性」という見出しのホワイトハウスのプレスリリースです。もう一つ共有したいことがあって、これはちょっと遅れて追加されたもので、この3月21日の第118回連邦議会第1セッション、法案 S.884 に関連し、その記述を引用します。

ー引用ー

「デジタル同一性改善に関する政府全体のアプローチを確立するための法案、およびその他の目的のための法案。」

何て？ その他の目的とは？ お～水面下/レーダー下です。お～長くはかかりません。エリシャのように祈れば、主が私の目を開き、お～見えるからです。あなたは、そんなことしてるんですか？ お～それが、私たちに対して、飛んでくるんですか？ はっは～かかってこいです。なぜなら、あなたは背後の霊的領域に何があるのかを知らないから。元に戻って、始めた方法をこういう言い方で締めくくります。私が願うのは、、、主は、私がこう言う時の私の心をご存知です。私も含め、皆さん全員の霊的なレーダーが預言的に活性化されるように。霊的レーダーを預言的に活性化させることが、個人的に大いに必要な応用力を発揮するきっかけです。個人的に大いに必要な応用力とは何か？

シンプルにこうです： これらの全預言は、私たちのレーダー上にあり、活性化すれば探知できます。探知すれば、これがレーダー上の目標にどれだけ近づいているかを警告する役割を果たします。その活性化したレーダーが作動していれば、あなたが私のレーダーに、すべてのチャフや気を散らすものを置き、すべての混乱を作り出すことができても、神が私に見る目を与えてくださるので、私はそれを見抜くことができ、何が起ころのかわかります。私には、どれだけ近いかわかる。どれだけ早く来るのかわかる。私にとって個人の応用はこうです：

「主イエスよ、早く来てください。あのラッパが鳴ります。あのレーダーを見ましたか？」

「見ましたけど、あいまいで。」「じゃあ、クリアにしましょう。はっきりしましょう。あなたがはっきりと見え、見る目があると、これを見てこうなります。「ほ～～本当に近いんだ。」目標を超えています。なので時間の問題です。どんなものであれ、それが降りかかって来たら、、、主よ、ありがとうございます！ 降りかかるということは、私たちは上に上がるということですから。可愛い子ぶろうとしていません。可愛くしようとしても出来ませんから。でも皆さん、ポイントは分かりますね？

レーダーの警告を心に留める事はすべての人に必要なことだと思います。レーダーの警告は、目標の終わりが、どれ程近いかを示します。これが「聖書預言・アップデート」を福音と、イエス・キリストの救いの良い知らせで締めくくる理由です。あと2～3分ほど時間をいただき、大変シンプルで子どもにでもわかる福音と救いの説明「救いのABC」を分かち合いたいと思います。それから今日の「しかし、神は。」の証で締めくくります。

「救いのABC」に再度、こう前置きします。ひとつの方法であって、特定の方法ではありません。シンプルな方法です。実際、ABCよりもシンプルなほどです。

B : Believe/信じる だけ。あなたがせねばならないことは何もありません。既にもうなされました。

でも言わば、きっと良い方はマズいですが、パターンがあって、私たちはそれが十字架上の盗人と愛称する男で分かります。自分が罪を犯し、十字架につけられるに値すると認めることです。

A：自分が神に背いた罪びとであるのを、Admit/認める または、Acknowledge/認識する。
自分が罪びとだと認めると、自分は救い主が必要だと求めます。

ローマ人への手紙 3章 10 節に書かれています。

「義人（正しい者）はいない。一人もいない。」

ローマ人への手紙 3章 23 節がその理由、

「すべての人は罪を犯して、神の栄光を受けることができず、」

ローマ人への手紙 6章 23 節、先に悪い知らせと、それから良い知らせがセットです。悪い知らせは、
「罪の報酬は死です。」（ローマ 6:23a）

これが、良い知らせ/イエス・キリストにある救いへ繋がります。なぜなら良い知らせは、

「神の賜物は私たちの主キリスト・イエスによる永遠の命です。」（ローマ 6:23b）

これについて第二礼拝で話しますが、「第一ヨハネの手紙 1 章」の最後に収められた 3 節がとても楽しみです。一読では、なんとなく読み流しがちです。でもそこには多くが詰まっています。私の特権でこれを教えるのが待ちきれません。次に B、中心です。

B：あなたの心で、イエス・キリストが主であると Believe/信じる。

ローマ人への手紙 10 章 9-10 節、

「あなたの心で神はイエスを死者の中からよみがえらせたと信じるなら、あなたは救われるからです。」

—ヨハネ 3：16—

神は、実に、そのひとり子（イエス）をお与えになったほどに世を愛された。それは御子（イエス）を”信じる”者が、一人として滅びることなく、永遠のいのちを持つためである。

そして最後に C です。

C：主の御名を Call/呼び求める、Confess/告白する。

再度、ローマ人への手紙 10 章 9-10 節、

「あなたの口でイエスは主と告白し、あなたの心で神はイエスを死者の中からよみがえらせたと信じるなら、あなたは救われるからです。」

最後に、ローマ人への手紙 10 章 13 節、決定打です。

『主の御名を呼び求める者はみな救われる。』

それほどシンプルです。どういう仕組みですか？ ええ私には、払えないほどの負債があります。イエスをご自分が負っていない、その負債を支払ってくださいました。「何の負債ですか？」死の罰則、死刑宣告をされた罪の負債です。イエスが私の身代わりになって、ご自分の血を流してくださいました。それが良い知らせです。私がすべきことは、十字架上の盗人がしたようにイエスを信じることだけです。

イエスを認識しました。

「あなたは救い主です。私は十字架にかけられるべきだけど、あなたはそうではあられない。あなたに罪はあられない。」

その盗人は、イエスを信じ、イエスに信頼を置き、イエスを呼び求めました。

「イエス様。あなたが御国に入られるときには、私を思い出してください。」（ルカ 23:42）

イエスは彼に言われた。

「まことに、あなたに言います。あなたは今日、わたしとともにパラダイスにいます。」

（ルカ 23:43）

それが「救いの ABC」です。B だけなほどの、シンプルさです。ちょっと響きがいいんですよ。新しい T シャツは作らないでください。T シャツは本当にたくさんありますから。では今日の「しかし、神は。」の証は、シグムンド・ブリューワーさんからです。

「こんにちは、キリストの兄弟。脅迫状を送ってから、もう 2 年になります。(私宛ではありません) 勤務先からのです。(お〜分かりました) 結局、2 年近く無給の休職を余儀なくされました。(これすごくかっこいいです。第二列王記 6 章のエリシャのしかし、神は。の証ですよ。)

私は、ワクチン要求に屈しない限り、彼らの施設に足を踏み入れることができませんでした。しかし、神は。私をずっと見ておられました。このような致命的な実験的遺伝子治療から逃れるため、私は主の御声に忠実に従っていました。主は、私が他の場所で働けるようにしてくださいました。それで、邪悪な強制をされたせいでも、請求書を払い続けることができました。さて、数日前、郵便でサプライズが届きました。(3 月のことで、画面に出します。) 神が見せて下さった最大の「しかし、神は。」です！...彼の雇用主からの手紙の内容の一部をご紹介します。

ー引用ー

「ご存知の通り、当社は、困難で進化するコロナパンデミックを乗り切るため、必要かつ適切なあらゆる手段を講じ続けています。(笑ってしまってすみません。聖化された笑いです。) ...そのひとつが、ワクチン接種義務化の実施でした。このプログラムでは、チームメンバーや研修医がコロナに対し完全接種するようサポートしました。当時そのプログラムを実施し、このアプローチは、私たちの地域に住み、訪れ、奉仕する大切な人々の健康と安全に、コロナがもたらす直接的な脅威と戦うための最も効果的な方法でした。... (へ〜) ちょっと私にこうさせて下さいね。この手紙の引用を続けます。

...この度、コロナのポリシーと手順が変更となりましたので、お知らせします。

3 月 17 日 (金) より適用：当社は、適用される法律に従い、コロナワクチン接種方針を廃止、雇用又は雇用継続の条件として、対コロナの完全ワクチン接種及びブースター接種及び継続接種の要件を廃止します。この決定は、コロナパンデミックに関連する国家非常事態宣言、及び公衆衛生緊急事態宣言の終了に関する最近のバイデン大統領の発表と一致します。すべての医療機関では、現在も、該当するすべてのチームメンバーが完全ワクチン接種確認を義務付けられていますので、ご了承ください。(接種+2 週間) は、適用される法律に従って行います。...そうさせてくださいと言ったでしょ。

...さらに私たちは、適用されるすべての州法または地方法を遵守し続けます。当社の休職に関する方針及び手続き、並びに休職に関する当社の事前の連絡に基づき、当社は、休職開始前に就業した職務と同一、又は類似の職務にあなたを復帰させることを保証するものではありません。この手紙に 3 月 31 日までに返答がない場合、(今いつですか？遅すぎますね。) 私たちは、あなたが自主的に職を辞したものとみなします。」

それって、ね〜？ 何と言うか、何ともね。彼はこう仰っています。

「さらなる励ましのため、これをぜひ兄弟姉妹にシェアしてください。皆さんの祈りに感謝します！ これは、祈りと信仰が本当に効果があると証明します。」これを第二列王記 6 章の「しかし、神は。」と私が呼ぶ理由は、あなたが信仰の目を通して見るからです。あなたは信仰の目を通して見て、エリシャのように祈る。

「神様、私の目を開いてください。彼らの目を開いてください。私が信仰の目を通して見れるようにしてください。あなたに最終決定権がえられるからです。彼らは、この件を水面下/レーダー下で進めようと

しています。彼らは爆撃して混乱させ、騙して注意を逸らそうとしています。いいえ、私に目を与えて下さい。そうすればはっきり見る事が出来ます。主よ、ありがとうございます。」

カポノ、上がってきてください。皆さん、ご起立ください。主を褒めたたえます。神は大変良いお方です。終わる前にさっと言います。ここにメモがあります。オンラインの匿名の贈り主へ惜しみない贈り物を感謝します。どうもありがとうございました。あなたの名前は分かりません。匿名希望ということは名前を知られたくないということですね。匿名の方、ありがとうございます。

祈りましょう。天のお父様。ありがとうございます。お～主よ。エリシャがアクセスできたように私たちもアクセスできることを感謝します。私たちが見る目を求めて祈るとき、あなたは答えて、私たちに見る目を与えてくださることを感謝します。主よ、今日ここで見たこのことを取り上げ、あなたにしか御出来にならないご方法で、いつもご忠実であられるとお祈り、どうかなさってください。

主よ、あなたが私たちのために、そうしてくださることを切望します。主よ、あなたは心をご存知ですから、この教会の礼拝に参加している人、あるいはきっとオンラインで見ている人で、あなたに信頼を置き、あなたを信じたことがない人が、今日が彼らの救いの日となりますように。永遠の命という人生で最も重要な決断を遅らせることがありませんように。主よ、霊的レーダーを注意深く見ている私たちにとって、とてもワクワクします。主よ、あなたが落胆した人を励まし、疲れた人を強めてくださるよう祈ります。私たちは、信仰によってこの意味を知っていて、それを信仰の目で見るとはからず。

見る事が信じる事ではなく、信じる事が見る事です。(ヨハネ 20:29/へブル 11:1 参照)

主よ、私たちは信じます。そして私たちは見ます。あなたがもうまもなく来られる事を知っています。ですから主よ、この祈りをこの方法で終わります。マラナタ。主イエスよ、早く来てください。

イエスの御名によって、アーメン。

メッセージ by JD Farag 牧師カルバリーチャペルカネオヘ

<http://www.calvarychapelkaneohe.com/>

Calvary Chapel Kaneohe 47-525 Kamehameha Hwy. Kaneohe, Hawaii

筆記 hukuinn7